

草原再生

子供たちへ引き継ぐ千年の草原

No.7

阿蘇草原再生ニュースレター
2005.7

ユウスゲ(ユリ科、多年草)

日月中旬から8月中旬にかけて、草原に大きな黄色の花を咲かせる。夕方から早朝にかけて開花するのでこの名がつく。

阿蘇の草原再生をめざして

第4回阿蘇草原再生懇談会が開催されました



第4回懇談会の様子

平成17年3月18日(金)、阿蘇市殿原で、第4回阿蘇草原再生懇談会が開催されました。

2年にわたって行われた阿蘇地域自然再生推進計画調査のまとめとして、平成16年度の調査結果が報告されたあと、阿蘇草原再生推進計画(案)についての議論が行われました。

これまでの調査結果については、3つの検討部会から、

- ①衛星データから阿蘇地域の草原の状況を広範囲に把握したり、実証実験により阿蘇の草原の生物多様性保全に効果的な維持管理手法を検討できた
- ②維持活動支援システムを作るための道筋をつくることができた
- ③「阿蘇草原再生シンポジウム」や「草原環境学習教材づくり」などを通して、「草原」をキーワードとした情報発信を行う

ことができた
といった内容の発言がありました。

これらの調査結果を踏まえて阿蘇草原再生推進計画が策定されますが、計画作成に当たっては、「この2年間で行政の垣根を越えた協議や取り組みには、大きな意義があり、特に「草原再生シール」のような取り組みは今後大切にしていきたい」「牛を育て食べてもらうことが草原維持の基本なので牛肉の流通・販売強化のための現場レベルでの連携・協力が必要である」「希少植物の観点からみたホットスポットはしっかり守ってほしい」「阿蘇の景観で経済を循環させるシステム、多様な主体で農家を支えようシステムをつくる時期にきている」などといった意見が出されました。

「阿蘇草原再生シール 生産者の会」本格始動

- 平成16年度調査で実験的に試行した草原再生シールによる協力店・商品づくり事業の継続・拡大が検討されていましたが、このほど「生産者の会」が発足しました。
- 4月27日、設立総会において、会の規約や役員などが決まり、いよいよ野菜の生産・販売を通じて草原環境保全に貢献する仕組みを広げる本格的な活動を始めることになりました。
- 会の趣旨や会員生産者などを紹介し、消費者に草原再生への参加を呼びかけるホームページも開設されました。

阿蘇草原再生シール生産者の会ホームページはこちら
<http://www.aso-sougen.com/producer/index.html>



イベントでの出店とシールを貼った野菜